

令和 8 年度 助産師職能集会／助産師・保健師合同研修会



令和 8 年 6 月 27 日（土）山口県看護研修会館において、助産師職能集会および助産師・保健師合同研修会が開催されました。

助産師職能集会では、助産師職能委員長より、令和 8 年度日本看護協会通常総会と全国職能別交流集会報告及び、令和 7 年度活動報告・令和 8 年度事業計画についての報告が行われました。

助産師・保健師合同研修会では、『精神疾患を疑う妊産婦の支援～緊急性のアセスメントと精神科医療の連携～』について山口大学大学院 医学系研究科精神科神経科 助教 野田稔子氏にご講演頂きました。

講演後は、『妊産婦さんの支援の現状と関係機関との連携のあり方について』というテーマで、圏域ごとのグループに分かれ助産師・保健師の交流会が行われました。助産師、保健師のそれぞれの立場で研修内容を振り返り困り感を提示し、その困り感に対しお互いがどのような活動を行っているかグループワークを実施しました。



グループワークの感想として

「児が入院中で母子分離している場合の保健センターとの連携のあり方について確認出来てよかった」「妊産婦と関わる中で“ちょっと気になる”勘を大切にし次につなげる重要性を再確認しました」との意見がでました。

また野田先生からグループワーク後に、気になる患者に対し病院と地域がつながることの重要性と、緊急時は遠慮なく支援ガイドを活用し精神科医師へつなげて欲しいとの講評を頂きました。圏域ごとのグループワークでもあり有意義な研修となりました。

今後も皆様のご参加をお待ちしています。

山口県看護協会 助産師職能委員会

